

祝 600 号記念

2010 (平成 22)

広
報

びらとり

11
No.600

たのしい腹話術。みんなで見たよ



子ども芸術劇場 (弥生保育園 10 月 21 日)

今月号は…

- 平取町功労者・永年勤続者表彰式
- 各地区で文化祭が開催されました
- 広報びらとり 600 号を達成！
- 町のひろば
- 教育委員会からのお知らせ
- すこやかだより
- 図書館へいこう・・・ほか

平取町功労者・永年勤続者表彰式

11月3日、中央公民館で約70人が出席し、平成22年度功労者・永年勤続者表彰式が行われました。各分野の被表彰者と功績などは次のとおりです。(敬称略)

社会福祉功労



鍋澤 保
(紫雲古津)

アイヌ協会平取支部副支部長及びアイヌ文化保存会長を永きにわたり務め、協会の福祉向上並びにアイヌ文化伝承保存に貢献されています。



小西正男
(荷 菜)

平取福祉会理事長をはじめとして同福祉会役員及び社会福祉協議会会長を永きにわたり務め、地域福祉向上に貢献されています。



池川和男
(小 平)

民生児童委員協議会の正副会長及び社会福祉協議会副会長を永きにわたり務め、地域福祉向上に貢献されています。

産業経済功労



野村 實
(幌毛志)

平取町農業協同組合理事及び、農業委員を永きにわたり務め、同組合の発展並びに農業振興に貢献されました。

奨励賞



中山民俗舞踊北海道支部芳広教室芳誠会代表 廣田セイ子
(振内町)

「楽踊会」の発足から25年、日本の伝統文化である舞踊の振興に努め、地域文化の向上に貢献されています。



上野敏子
(本 町)

平取民謡三弦会代表に就任し、以来20年以上にわたり、民謡の普及活動に努められています。



井内秀子
(本 町)

20年以上書道教室を開設する中、平取義経大学書道クラブの指導も行い、高齢者の文化向上に寄与されています。

永年勤続者

教育委員

佐々 憲一 (振内町) 15年

消防団員

山田 和博 (本 町) 35年

本間 稔浩 (貫気別) 25年

川奈野 竜二 (荷 負) 25年

丸岡 敏弘 (貫気別) 25年

宮入 司 (貫気別) 25年

川奈野 誠 (長知内) 15年

川奈野 榮子 (振内町) 15年

萱野 久彦 (長知内) 15年

久保登志子 (荷 菜) 15年

黒川 実 (貫気別) 15年

黒川 コスミ (本 町) 15年

和田 ともよ (荷 菜) 15年

山道 鉄也 (荷 負) 15年

統計調査員

宮入 司 (貫気別) 15年

交通安全指導員

川奈野 榮子 (振内町) 18年

大浦 義己 (振内町) 15年

各地区で文化祭が開催されました

今年も、各地区で文化祭が開催され、たくさんの作品が展示されました。各会場では、素晴らしい作品を前にくぎ付けになる人や、自分の作品を親に教える子どもなど、みんな思い思いに作品展を楽しんでいました。

また、振内、本町地区では芸能発表会が行われ、日頃の練習の成果を存分に発揮し、会場からは大きな拍手が送られました。



荷負地区



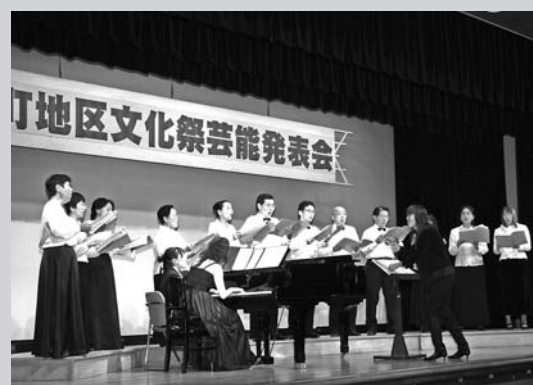
貫気別地区



振内地区



本町地区



広報 **びらとり** 600号を達成！

「広報びらとり」は今月号で600号を迎えました。
 平取町百年史によると、昭和24年5月15日に創刊された「村報びらとり」が始まりです。この年、開村50周年を迎えた年でもありました。
 今号は記念特集といたしまして、100号毎の節目となる広報誌を交え、創刊から現在までの時代の移り変わりをご紹介します。

創刊号		村報びらとり		昭和24年5月15日	
<p>今月号から村報を毎月一回発行して各戸へ送付します。本報は村長より村民各位へ差上げる一つの手紙であります。</p>					
<p>現在の国憲の根本を治めるべきは地方自治の基本をなす地方自治の根本理念である。地方自治の根本理念は、地方自治の根本理念である。地方自治の根本理念は、地方自治の根本理念である。</p>					
<p>同時に治めるべきの立場に立ち、国民がみな政治の責任者となる。村政の主体として、村民が政治の責任を負う。村政の主体として、村民が政治の責任を負う。</p>					
<p>新農業普及制度の実施について。新農業普及制度の実施について。新農業普及制度の実施について。新農業普及制度の実施について。新農業普及制度の実施について。</p>					
<p>開村五十周年記念行事について。開村五十周年記念行事について。開村五十周年記念行事について。開村五十周年記念行事について。開村五十周年記念行事について。</p>					
<p>平取町開村五十周年記念行事。平取町開村五十周年記念行事。平取町開村五十周年記念行事。平取町開村五十周年記念行事。平取町開村五十周年記念行事。</p>					

村報びらとり創刊号（昭和24年5月15日）

創刊号（B4版表裏）です。冒頭部分を紹介しますと、「今月から村報を毎月一回発行して各戸へ送付します。村報は村長より村民各位へ差上げる一つの手紙であります」とあり、当時の発行形式が今も変わらず続いていることが分かります。

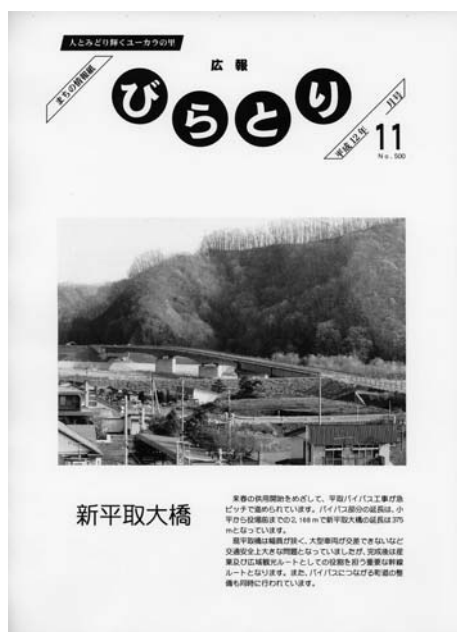
また、「一つの手紙である」という言葉は、心に響くものがあり、広報誌のあり方について、改めて考えさせられるものでした。



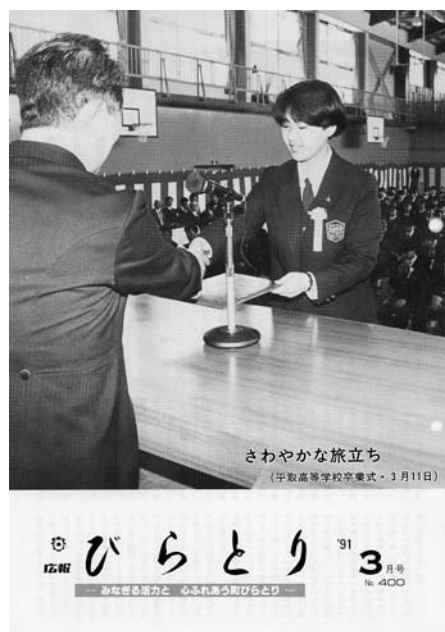
広報びらとり 200 号
(昭和 45 年 2 月)



広報びらとり 100 号
(昭和 36 年 9 月)



広報びらとり 500 号
(平成 12 年 11 月)



広報びらとり 400 号
(平成 3 年 3 月)



広報びらとり 300 号
(昭和 54 年 3 月)

広報びらとり 100 号は「村報びらとり」から名称が変更（第 86 号より変更）になり、B5 版 4 ページで写真も掲載された紙面になっています。表紙を見ますと「平取市街に舗装ができる」と、当時をうかがえる町並みが紹介されています。

また、広報びらとり 200 号には、紙面の中に 4 コマ漫画が登場するなど、多彩な内容となっていました。昭和の後期からは、印刷技術も向上し、カラー印刷や写真がふんだんに使われるようになり、現在に至っては A4 版、パソコンによる作成となっています。

今後におきましても、皆さんの記録となる紙面、時には手紙であるような紙面づくりを心がけ、未来に繋げていきたいと思っています。



川上町長

「広報びらとり」600 号に寄せて…

早いもので、広報が無事 600 号を発行することができました。これも一重に町民の皆さんの温かいご支援の賜物でありますことに深く感謝を申し上げます。

振り返りますと、これまで先人が築いてきました平取町の発展は、広報誌を通してながら気づかされることも多くあります。今後も、町民の皆さんの貴重な情報源の 1 つとなるよう、まい進いたしますので、さらなるご支援をお願いいたします。

町のひろば



民謡大会全道一を報告

札幌市 貝澤早綾佳さん(10/12)

道知事優勝旗争奪「第61回全道民謡決勝大会江差迫分の部」で町出身の貝澤さんが優勝し、町長室を表敬訪問しました。これまでも同大会の「北海道民謡の部」、「全国民謡の部」で優勝しており、今回、全部門を制し、歴代でも数名の三冠を達成しました。

貝澤さんは5歳から民謡を続けており、「民謡は昔の歌なので、歌詞を勉強すると、改めてその世界観がわかるのも魅力」だそうです。

また、10月10日に旭川で開催された民謡民舞全国大会地区予選を優勝し、来年開催の同内閣総理大臣賞争奪戦への出場権を得ており、「全国では優勝を目指して頑張りたい」と抱負を語ってくれました。

楽しく、おいしいびらとりを食べよう！

マークス・ボス クッキングサロンinびらとり(10/26)

びらとり特産の野菜や黒豚を使った料理講習会が、町農業支援センター・北海道電力㈱富川営業所の共催で開催されました。

講師はSTV どさんこワイド「マークスのおいしい北海道」でもおなじみのシェフ、マークス・ボスさんです。

今回は、家庭でも作れる簡単でオシャレな料理として「トマトのサルサでいただく茄子の前菜」「ポークというキノコのラグー」やデザート1品が紹介されました。

マークスさんは、テレビと同様に大変陽気な方で、終始笑いの絶えない料理講習会になりました。シェフの作る料理に参加者からは「おいしい」と歓声があがり、料理を作る楽しさと、びらとり食材のおいしさを改めて実感した料理講習会となりました。



ご寄付ありがとうございます

岩知志 登 由吉さん(10/21)

登 由吉さんが亡母・スギノさんの遺志を受け「元気なまちづくり事業」へ充てていただきたいとご寄付くださいました。

町長より「町のために大切にに使わせていただきます」とお礼の言葉を述べました。



「森の名人」認定おめでとうございます。

二風谷 貝澤 守さん (10/26)

社団法人国土緑化推進機構が、森づくりや木材加工に関わる優れた技術を持つ人を認定する「森の名手・名人」の「森の伝承・文化部門」に貝澤さんが選ばれました。

この認定は毎年全国で 80 名が選定されますが、今年は道内で唯一貝澤さんだけが選ばれました。

貝澤さんは伝統工芸品を製作し、工芸店「貝沢民芸」を営んでいるほか、町のイオル再生事業にも積極的にご協力いただいている方です。

伝統捕獲漁法で鮭を捕獲

アシリチェプノミ体験交流事業 (10/27)

イオル再生事業「アシリチェプノミ体験交流事業」が、二風谷オサツ沢において開催されました。伝統捕獲漁法「マレブ漁」「アブ漁」等で獲った最初の鮭で、遡上と豊漁を祈る伝統的儀礼「アシリチェプノミ」を行い、参加者約 50 名が伝統捕獲漁法に挑戦しました。激しく動き回る鮭を獲るのは難しく、熟練者にコツを教えてもらいながらも悪戦苦闘の様子。最後に捕獲した鮭で保存食を作り、かつて行われていたアイヌの伝統的儀式や食文化を体験しました。



びらとりトマト大使が集合

ふれあいセンターびらとり (10/31)

びらとりトマトを各方面で PR いただいている「びらとりトマト大使」を一同に会した 2 回目となる会議がふれあいセンターびらとりで開催されました。

サッカー日本代表元監督の岡田武史さんや、女優の杉田かおるさんをはじめとした 5 名の大使から、びらとりトマトの販路や、PR の方法について活発な意見をもらい、町にとって大変有意義な会議となりました。

各方面での PR はもちろんのこと、また来町したいと話してくれました。

統計功労道知事感謝状を贈呈

(11/15)

統計調査員として 20 年以上務められた、浅道さん、粒来さん、津川さんの 3 名が北海道知事感謝状を受賞し、町長より伝達されました。

今後も統計調査員として、お力添えをお願いします。



写真左から、浅道節子さん（荷負）、粒来政美さん（貫気別）、津川英樹さん（紫雲古津）

教育委員会からのお知らせ

子どもたちの体力作りと心の教育に大きな効果 ～紫雲古津小学校 一輪車の取り組み～

本校の前庭には開校 80 周年に設置された、どっしりと大きな石碑があり、そこには「建学愛郷」の四文字が刻まれています。明治 33 年 8 月 1 日、子孫たちが学問への目を開き、郷土を愛する健全な人として育つことを願って、我が「紫雲古津簡易教習所」が創設されたそうです。

また、校庭には、大正 11 年の卒業記念植樹として植えられたイチョウの大木があり、我が校のシンボルツリーとして、また町の保存樹として、たくさん子どもたちを見守ってきました。

本校の特色ある教育活動としては、全校挙げての一輪車の取り組みがあります。この活動は、十数年前から取り入れられ、今日でも子どもたちの間にしっかりと根付いており、子どもたちの体力作りと心の教育に大きな効果をもたらしています。

右の写真は運動会での集団演技の一部です。高学年と教師が構成を考えて、3 年生から 6 年生までの児童全員が力を合わせて演じます。当然、中学年の児童は高学年に及ばないのですが、みんなで支え合いながら最後まで演じきります。

毎年、その光景は、来場者の心を打つものとなっています。その様子を目の当たりにして、また低学年の児童が続いていくのです。たった一つの小さな取り組みですが、紫雲古津小の子どもたちをしっかりと結びつける大きな成果をもたらしています。



本校ではまた、地域連携、外部人材の活用といった取り組みも行っており、今年は「人権の花運動」にも参加させていただき、児童全員で花壇整備を行いました。6 月には道立教育研究所の協力で「移動理科教室」も実施でき、科学に触れる貴重な経験をしました。

開校 110 年、教職員一丸となって、保護者、地域の皆さんと手を携えながら、「建学愛郷」精神を受け継ぎ、本校ならではの体験を重視しながら、一人一人の子どもが自他の関わりを大切に、持てる可能性を伸ばすことができるよう、教育実践に取り組んでいます。

学校祭（文化祭）・学習発表会（学芸会）で創造力、表現力に自信

～荷負小学校では 7 人の児童全員が全プログラムに出演して～

10 月、各小中学校では学校祭（文化祭）、学習発表会（学芸会）が開催されました。小、中各学校ともそれぞれの特徴を持たせて、参観された多数の保護者、地域の皆さんの期待に応えようと、見事に演じる子どもたちの発表にあたたかい声援・拍手が寄せられました。

『最後だ！ 7 人の心を一つに！笑顔でかつこよく😊』のスローガンを掲げた荷負小学校では、7 人の



児童全員がすべてのプログラムに出演、一人ひとりが心を込めて最後の学習発表会を演じ切りました。観客席からは「大きな学校に負けないくらいすばらしかった」「場面がえのテキパキした動きに感心！」「学校変わってもがんばってください」等々の称賛と励ましのメッセージがありました。

やり終えた子どもたちみんなの胸に新たな自信が芽生えた学校祭・学習発表会の取り組みでした。

「みんなで協力しながら3日間過ごしました」～通学合宿（本町地区、振内地区）

本町地区：中央公民館 9月29日（水）～10月1日（金）

振内地区：振内町民センター 10月20日（水）～22日（金）

小学4年生から6年生を対象に自分たちの力で共同生活をしながら通学する体験事業「通学合宿」を行いました。



本町地区では紫雲古津、平取、二風谷各小学校からの参加がありほとんどが初対面同士でしたが、時間とともに打ち解け、お互いに協力しながら、買い物、家計簿付け、料理、後片付けなどを行っていました。大人からアドバイスは受けるものの、自分で考えて行動に移す、みんなで話し合い物事を決めながら合宿生活を進めていくことに、最初は戸惑いもあったようですが、お友達と寝起きし時間を見ながら行動する体験に達成感は大きかったようです。

振内地区からの参加者は振内小学校だけとなりますが、いつもはスクールバスで通っている参加者も合宿中

はみんなと歩いて登下校することに新鮮さも感じていたようです。普段から気心の知れたメンバーでの合宿でしたが、家とは違い多人数の食事の用意や後片付けには分担と協力が必要となります。あまり買い物や料理をしたことがない参加者も自分にできることは？と考えながら行動し、みんなの得意分野を活かしておいしい食事を作ることができたと大満足の様子でした。

両地区の参加者とも、今回の合宿で自分の手でできることがたくさんあると知ったようで、最終日には「家に帰ったらお手伝いをしたい」「できることはなるべく自分でやりたい」「自分で考えて行動するようにする」と意欲的な感想が多くあり、家事をすることのタイヘンさはもちろん、家族の大切さも実感した3日間となったようです。



腹話術に大爆笑しました～子ども芸術劇場

保育所の部 10月20日（火）、21日（木）

舞台芸術の鑑賞機会の提供を通して豊かな感性を育んでもらおうと、苫小牧信用金庫さまの寄付のもと、子ども芸術劇場の保育所の部を町内6保育所で開催しました。

腹話術師サッチーが人形のゴン太君を操り、愉快なかけひきを披露しました。サッチーは、子ども達に対し、1日の生活の中で色々なあいさつを大きな声でできるように教えました。各保育所の会場ではゴン太君がサッチーにいたずらに冗談を言う様子に大爆笑でした。また、サッチーからの質問に会場の子供達達が元気よく大きな返事をし、30分間の公演を楽しみました。



教育委員会からのお知らせ

各スポーツ少年団の大会結果

バドミントン少年団

平成 22 年度 JUMP プラン日高町・平取町地区少年団バドミントン大会

期 日 9 月 18 日 (土)

場 所 日高町門別スポーツセンター

成 績 《男子》

シングルス

【小学生 1・2 年生の部】

優 勝：小向 敦士 (貫気別少年団)

準優勝：西根 寛弥 (貫気別少年団)

【小学生 3・4 年生の部】

優 勝：伊東 和陽 (貫気別少年団)

第 3 位：遠藤 胤寿 (本町少年団)

【中・高校生の部】

優 勝：鶴野十起也 (本町少年団)



《女子》

シングルス

【小学生 3・4 年生の部】

優 勝：小向 恵夢 (貫気別少年団)

第 3 位：滝 侑里 (本町少年団)

【小学生 5・6 年生の部】

優 勝：二谷 早咲 (貫気別少年団)

準優勝：二谷 美咲 (貫気別少年団)

【中・高校生の部】

準優勝：大高 由夏 (貫気別少年団)

第 3 位：工藤 五月 (貫気別少年団)

第 3 位：小野寺菜月 (本町少年団)

ダブルス

【中・高校生の部】

優 勝：工藤 美咲・原田 一美 (本町少年団)

準優勝：小野寺菜月・滝 渚紗 (本町少年団)

平取柔道スポーツ少年団

第 49 回全日高少年少女柔道大会

期 日 9 月 26 日 (日)

場 所 新ひだか町山手体育館

成 績 《男子団体戦》

【小学生低学年の部】 第 3 位：平取柔道少年団 (牛坂大悟・松浦敬大)

【小学生高学年の部】 第 3 位：平取柔道少年団 (津川義貴・松永優気・及川和磨)

【中学生の部】 優 勝：平取柔道少年団 A (西野 匠・正木 健・吉田貴史)

第 3 位：平取柔道少年団 B (武田涼太郎・安藤大貴・斎藤美香)

《男子個人戦》

【小学 1 年生の部】 準優勝：牛坂大悟

【小学 3 年生の部】 準優勝：松浦敬大

【小学 4 年生の部】 第 3 位：佐藤優弥・松永優気

【小学 5 年生の部】 第 3 位：津川義貴

【中学生の部】 準優勝：吉田貴史 第 3 位：正木 建

《女子個人戦》

【中学生の部】 準優勝：斎藤美香

その他の大会結果

第 27 回国際総合空手道全日本空手道選手権大会

期 日 9 月 26 日 (日)

場 所 東京都 Bump 東京スポーツ文化館

成 績 【フルコンタクト小学 1 年男子】

第 3 位 川上 真那心 (雅龍拳 誠曾館) 平取小学校



沙流川流域のアイヌ伝承

沙流川流域には数多くのアイヌ伝承地が所在します。延長約 110km におよぶ流域の源流部から河口域までいたるところに印象的な岩塊や丘陵、川の流れがあり、その多くに地域の生活に根ざした言い伝えが残されています。

特徴的な自然の造形にいろいろな意味合いを見いだしたアイヌの伝統的な世界観は、地域性をもったウパシクマ（言い伝え）として、連綿と語り継がれながら生活に根付いてきました。

伝承の内容は多岐にわたっており、伝統的な狩猟の場や自然災害、長い北海道の歴史の中で起こってきたであろうトパットウミ（夜襲）の伝承、信仰してきたカムイの世界観などが折り込まれています。

とりわけこの地域の住民は、オキクルミが降臨した土地に住む者として誇りに思い、他地域の人々からは敬意が払われてもいました。沙流川流域がアイヌ文化発祥の地という言われ方をするのも、オキクルミ伝承と深く結びついたことといわれています。

かつては全道くまなく所在したであろうアイヌ伝承地も、近年のグローバル化とともにその多くが忘れ去られてきています。沙流川流域は幸いなことに、比較的多くの場所がしっかりとした来歴とともに今日に残されています。



オキクルミのチャシ：荷負の額平川左岸
～オキクルミが住んだとされる居城
(写真中央部のひときわ高いこぶ状の山)



ムイノカ：オキクルミのチャシに隣接
～オキクルミの妹が置いていったとされる
箕の形象（崖面が半円状に欠けた部分）

伝承地に残された故事来歴や宗教観を大切にしていくことは、流域らしい文化的景観を保全していく上でも非常に重要なことといえます。平取町の重要文化的景観「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」（平成 19 年 7 月 26 日選定）においても主要な構成要素として位置づけており、選定区域内のアイヌ伝承地保全に努めています。

近年、町づくりを推進していく上で、地域の伝統に根ざした整備が一層見直されるようになりました。現在、町で行っているイオル整備事業にも一層の深みを与え、相乗効果をもたらしていくものと期待されています。

アイヌの伝統を大事にするためのこうした取り組みは、将来必ず魅力ある文化振興に繋がっていくであろうと考えています。

すこやかだより

－保健福祉課－

平取の旬を食べよう!!

びらとり産『長いも』が店先に並ぶ季節となりました。

長いものことをもっとよく知ると、平取野菜の旬の楽しみ方が広がります。

■長いもの栄養・効果

長いものは栄養価が高く、コクのある独特の風味を持った健康野菜です。

長いもには、亜鉛やカリウム、鉄などのミネラル成分、ビタミンB群・Cなど栄養成分がバランス良く含まれ、さらにアミラーゼやジアスターゼなど多くの消化酵素が含まれます。これらにより、中国では漢方薬として利用されるほど、消化促進作用が抜群で滋養強壮効果も高いといわれています。

また、食物繊維の一種で、独特のぬめり成分である『ムチン』は、細胞を活性化させる働きがあり、新陳代謝が促進され、老化の予防・肌荒れ・疲労回復、便秘の改善、ダイエットに効果的です。(その他にムチンを多く含む食品には、オクラやなめこなどがあります) 長いものは、すりおろして「とろろ」にしたり、刻んでサラダ

にして食べるのが一般的です。たくさん食べても、その消化作用により胃にもたれず、栄養を多く摂ることができるお勧めの食材です。

■長いもの選び方・保存方法

★表面がきれいで張りがあり、傷や斑点のないもの、皮が赤く変色しているものより白いものを選ぶ。

★長いものは、いもの中では傷みやすい素材だが、一本ものは、比較の日持ちがよいので、新聞紙に包んで冷蔵庫

か冷暗所へ。2週間くらいは鮮度を保てるが、日にあてるとすぐに皮が黒くなるので、注意が必要。

★切ったものは切り口から傷むのでラップに包んで冷蔵庫へ入れ、1週間ほどで使いきる。

★すりおろせば冷凍できるので、冷凍用保存袋などに入れて平たく冷凍すると便利。冷凍後は必要な分だけ折り、自然解凍でそのまま食べられる。

びらとり産の“長いも”を使った おやつレシピ 【長いもドーナツ】 1個：約60kcal

【材 料】 4～5人分

長いも	150 g
バター	15 g (室温に戻したもの)
砂糖	30 g
卵	1個 (S玉)
牛乳	50ml
ホットケーキミックス	150 g
グラニュー糖	適 宜
揚げ油	適 宜

【作り方】

- ① 長いもは、皮をむき適当な大きさに切りそろえ、電子レンジでやわらかくなるまで加熱し、なめらかにつぶす。
- ② ボウルにバターを入れ練り、砂糖を加えよく混ぜ合わせる。その中に、溶き卵・①・牛乳の順に入れ混ぜる。
- ③ ②にホットケーキミックスを入れ、粘りがでないようサックリ混ぜる。
- ④ 170℃の油に③をスプーンなどですくって入れ、キツネ色になるまでゆっくりと揚げ、グラニュー糖をまぶす。



図書館へいこう

☆開館時間

火～金曜日 10:00～18:00

土・日曜日 10:00～17:00

☆休館日

月曜日休み、月曜日が祝日の場合は
月曜日と翌日が休みとなります

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

※□は休館日です。

It's New!

新しい本が入りました

ここに掲載されたもの以外にも、たくさんの
本がありますので、お気軽に図書館（☎ 4-6666）
までお問合せください。

あなたの一冊のお手伝いをします。

【小説・エッセイ】

『歌うクジラ』上・下／村上龍

『チア男子!!』／朝井リョウ

『孤舟』／渡辺淳一

『往復書簡』／湊かなえ

『13歳のシーズン』／あさのあつこ



【家庭・生活・趣味】

『収納&整理のきほん事典』

／すはらひろこ

『まるごと柑橘レシピ』／脇雅世



【社会・経済・政治】

『池上彰の新聞活用術』／池上彰

『ハーバード白熱教室講義録

+東大特別授業』上・下

／マイケル・サンデル



「出前図書館」が高砂大学へ

10月5日（火）に、
振内町民センターで開
催された高砂大学学習
会にて、お昼休みに図
書館の本を利用して
いただきました。



出前図書館の詳細は、
図書館までお問い合わせください。

乳幼児健診で子どもとふれあい

10月20日（水）から2日間、平取高校の職
場体験学習で、西山香織さん（1年）が児童館
での絵本の読み聞かせや、カウンター業務など
の図書館の仕事に挑戦しました。

乳幼児健診の会場で
おすすめの絵本リスト
の配布などを行うとい
う仕事では、健診の待
ち時間に、自分から積
極的に子どもたちの相
手をしてくれました。



●図書館からのひとこと●

図書館でできるこんなこと…貸出⑤

本を探す 図書館に読みたい本があるか
どうかを調べるために、図書館と振内青年
会館・貫気別支所には、タッチパネル式の
「検索機」を設置しています。図書館や支所
に来られたついでにさわってみてください。

また、画面の「新着図書」や「お知らせ」
をタッチしてみると、図書館に新しく入った
本や、図書館の行事などのお知らせを見るこ
とができますので、お試しください。

図書ワゴン（移動図書館車）運行日程[12月]

12月は次の日程で巡回します。

12月2日（木）【貫気別地区】

11:00～11:30 荷負 遠藤和江さん宅前

11:45～12:30 貫気別生活館

12:45～13:15 芽生生活改善センター

13:30～14:00 旭生活館

12月3日（金）【振内地区】

11:30～12:00 振内町民センター

12:00～12:30 山の駅ほろしり館

12:45～13:15 岩知志ふれあい館

13:45～14:15 豊糠生活改善センター

※本の返却や、不要になった本のご寄贈も受け
付けています。ぜひお立ち寄りください。



■第38回 振内地区文化祭芸能発表会（11月2日）

短歌教室詠草

食卓にソウメンかぼちゃの酢の物よ
コリコリと香り残る口元

市橋恵美子

敬老会へ世話になりつつ出席し
幼児の踊りやカラオケたのしむ

中沢三子

バスの窓雲一つなき秋晴れに
道南の海はおだやかに見ゆ

相田のぶ子

懸命に都会で働き^{あこ}吾子達は
家を買ったと嬉しい便り

高橋 洋子

もう一つ歳をかさねたよろこびに
夫との乾杯われは幸せ

中原千鶴子

町の人口

人 口	5,654	(▲ 6)
男	2,724	(▲ 1)
女	2,930	(▲ 5)
世帯数	2,594	(▲ 2)
外国人登録数	127	

()内は前月比 10月末現在